



第244号  
2009年8月 1日  
行 富山市内幸町3-22 (菅谷ビル4階)  
新日本スポーツ連盟 富山県連盟  
電話 (FAX) 076-441-0541  
発行責任者 林 憲彦

## サマースポーツセミナー・スポレク

### 《真夏のサイクリング》はいかがですか

理事・財政部長 荒井 英治

8月29日、30日に石川県内灘町のサイクリングターミナルで、新日本スポーツ連盟主催『2009年サマースポーツセミナー』があります。その第1日目の午後にある「スポーツレクリエーション交流」のサイクリング部門の企画・実行を引き受けてしまいました。

主管の石川県連盟の役員にサイクリングを趣味とする人がいなかったため、富山県連盟の私にご指名がきたという次第。

受けたからには、と意気込んでみたものの、炎天下の「8月のサイクリング」なんて、映画の題名には使えても、参加者にとっては地獄の時間

になりそう。はたして何人参加してもらえるかと心配になりました。

午後1時から4時までの時間帯、陽射しの方向と日陰、熱射病の恐れ、水分補給、当日のお天気は？お楽しみスポットは何処にするか。

いくつかの要素を考慮してコースを考えて、現地での試走もする中で、内灘という場所の地理と歴史についても知っておこうと思い、図書館で本を探しました。

必要にせまられての勉強でしたが、それが嵌ってしまいました。

江戸時代中後期の加賀藩領内の風景が、それこそ映画のスクリーンに浮かんでくるようで。

・・・河北潟干拓に関わって、潟に毒物を撒いたとの嫌疑をかけられ獄死した海商『銭屋五兵衛』を筆頭とする北前船の豪商たちを数多く生み出した江戸後期の加賀藩の台所事情。

加賀百万石というが、実際は何万石？

『十村役』って何？・・・

自分の役目を忘れてしまいました。

サイクリング当日はあまり喋り過ぎないようにして案内役を務めなければと自戒しています。

8月29日のサイクリングは石川、富山両県の自転車愛好家をサポーターとして協力してもらって、安全で楽しくて少し知的なサイクリングにしたいと準備をしています。一人でも多くの方の参加を期待しています。



## 組織拡大全国交流会議に参加して

副理事長 寺田正男

6月27～28日に東京であった上記の会議に参加しました。

1日目、まず、和食理事長の挨拶で最も印象に残ったのは、「競技者はお互いを尊重し、刺激しあい、お互いに発展していくべきだ。闘争ではない、フェアプレー精神こそ大事なのだ。また勝者のみを選抜するのではなく、自らの能力を十分に発揮して楽しむ、そしてそれを成長の糧とする。」ということです。

その後、北川登スポーツ活動組織局長から基調報告が行われました。

次に、「新日本スポーツ連盟岩手県連盟結成までのドラマ」が伊藤司男理事長から報告されました。

伊藤さんは「日本卓球協会」関連の県理事や市理事長などを40年間やってきた。今から約3年前に、「全国卓球協議会」が岩手県で開催した咄前卓球を見に行った。それが「スポーツ連盟」との初めての関わりだった。その時、試合方法を工夫して「だれもが平等に楽しく」しているのを見て「これだ」とすっかり共感した。そして「岩手県卓球協議会」を立ち上げた。その後「岩手県連盟」結成に向けて、スキー、労山、野球の各協議会と個人の「空手」に呼びかけ、何回も討議を積み重ねた。「作っても何になるか」「会費はこれ以上集めるのは無理だ」「一体だれが役員になるのか」など消極的意見も出た。しかし、各協議会の役員が奮闘して各総会で了承してもらい、今年の5月ようやく「岩手県連盟」が結成された。

その他、「県の種目間協力をどのように生み出してきたか」神奈川県連盟事務局長吉成克己さんと「競技する楽しさを『出前』する」全国卓球協議会副運営委員長岩波道子さんの2つの報告がありました。

2日目の午前分科会「次世代を担う人材育成方法の交流」に出ました。

選手としては熱心だが、役員となることにはちゅうちょする者が多い。しかし何かの会議に出てもらったり簡単な仕事を任せることから始め、失敗もあるだろうが責任は上が取ると本人が安心して出来る雰囲気を作り、活動を通じて達成感や喜びを感じることができるようにする。

包容力を持ち、我慢強く育てることが必要。というふうにとまとめることが出来ると思います。

午後は分科会「アピール抜群の宣伝物の作り方をプロに学ぶ」に出ました。

印刷会社で宣伝ビラなどを実際に行っている講師から、見た人がわかり易いビラの作り方を学びました。

今度の会議に出て、全国で多くの方がスポーツ連盟の理念である「自分たちで民主的に会を運営し、みんなが平等にスポーツを楽しむ」ために情熱を燃やしている姿が見え、私には大変刺激になり力を貰いました。



スポーツ連盟

# 09年 サマースポーツセミナー

ウォーキングの集い

**日時** 2009年8月29日(土) 午後1時出発(富山からの乗り継ぎなどについては下記をご覧ください)

**参加費** 300円(入館料・障害保険料を含む)

## コース概要

内灘町サイクリングターミナル→「風と砂の館」見学→マイクロバスで移動→旧米軍射撃指揮所→鉄板道路→アカシヤ林帯遊歩道→防潮水門→権現森(旧着弾地監視所)→小浜神社跡地→サイクリングターミナル(約7Km)

**案内人** 地元の元小学校教諭の西村昭さん

着弾監視所

防潮水門



魚津	滑川	富山		小杉	高岡	金沢
9:40	9:49	10:04	10:36	10:45	10:52	11:24
富山からの運賃は950円です						

金沢(12:00に乗車)→北陸鉄道浅野川線→内灘町下車(310円)・内灘駅(12:41)→コミュニティバス→総合公園(12:59)下車

※ マイカーで参加の方は直接内灘町サイクリングターミナルへ行って下さい。

## 参加申し込み&お問い合わせ

林憲彦まで FAX(0766-82-6035)又は(nori@po4.canet.ne.jp)でお願いします  
申し込み〆切 8月27日(木)

## 反核平和マラソン 片掛～富山城趾コース

核兵器廃絶と平和を訴える「反核平和マラソン」は6月13日、石川のランナーにタスキを引き継ぎましたが、もっと県民の皆さんに訴えようと6月28日富山市片掛の道の駅「林林」から富山城趾公園で実施しました。

この日の参加者は3名のランナー・自転車の伴走1名にサポーター2名の少人数でしたが、沿道のみなさんへ核兵器廃絶・被爆者救護・戦争反対の訴えができました。



## 芦峯寺「<sup>ゆい</sup>結<sup>こ</sup>の<sup>や</sup>小舎」で 山の歌・心の歌・フォーク 『山の音楽会』の一夜

(富山ハイキングクラブ文化企画)

—おいしい鉄板焼き料理で、飲み、歌い、語りあかそう—

《企画・お世話/猪谷守・佐伯英之・赤星正明》

9月5日(土)夕方5時から泊り、翌朝解散。

★ハーモニカ・アンサンブル『パープル』(赤星



の人気者)「タンゴ“恋ます。

☆ギター、オカリナ、



アコーディオン、などの

奏者も参加予定。皆さんも楽器ありましたらお持ちください。

毛布か寝袋持参ください。

さん含む4人の「山

心」などの演奏あり



◆会費/1500円程(鉄板焼き代など)。飲み物・おにぎりなどは皆さん各自持参ください。

・スポーツ連盟事務所前発16時の車用意します。

参加申し込みは 8月20日(木)まで、TEL/FAX076-465-5146 赤星さんへ

## 島尾海岸を歩き平和を考えるウォーキング

島尾海岸にある無縁地蔵(富山大空襲で神通川に逃れたが、甲斐が無く水死や焼死した人が島尾海岸に漂着し、これを弔う地蔵尊)を訪ね、改めて戦争の悲惨を感じ取り、平和の尊さを知る。

日時 2009年8月1日(土)

集合場所&時刻 8:40 雨晴駅前(夏休み中で海水浴客で混雑すると思われるので、車での参加はご遠慮下さい) 問い合わせ先: 林憲彦 0766-82-6035